
2020年度第1四半期（4～6月）決算について

2020年7月30日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第1四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第1四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2020年度 連結業績見通し	．．．	4
□2020年度 配当予想	．．．	5
□参考資料	．．．	6

■ 第1四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績（累計）

（単位：億円）

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	1,738	1,785	△ 47	△ 2.6
営業利益	245	41	203	495.1
経常利益	217	16	201	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	185	13	171	—
1株当たり四半期純利益	88円67銭	5円09銭	83円58銭	

財政状態

（単位：億円）

	当第1四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	19,809	19,590	218
純資産	2,647	2,473	173
自己資本比率	12.7%	12.0%	0.7%

売上高 (減収)	再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響などによる増加はありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による販売電力量の減少などにより、前年同期に比べ47億円減少の1,738億円となりました。
経常利益 (増益)	新型コロナウイルス感染症の影響等による販売電力量の減少はありましたが、火力発電所の定期検査がなかったことに伴う修繕費の減少や固定資産税の減少などにより、前年同期に比べ201億円増加の217億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	前年同期に比べ171億円増加の185億円となりました。

■ 2020年度 連結業績見通し

2020年度通期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を見通すことが困難なことから、2020年4月30日の決算発表時には未定といたしました。

本年5月25日には国による緊急事態宣言が解除され、北海道内の生活・経済活動に一部回復の兆しが見られますが、世界規模での感染拡大の継続や、国内での感染再拡大など、販売電力量をはじめ当社の業務全般への影響を見極めることは依然として困難な状況にあります。

このため、2020年度通期の連結業績につきましては、売上高・利益ともに引き続き未定といたします。今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な状況にありますが、経営基盤強化推進委員会による収入拡大・費用低減の取り組みを継続し、利益目標である連結経常利益230億円以上を目指してまいります。

当社をはじめとしたほくでんグループは、感染予防・拡大防止に取り組み、重要な社会基盤である電力の安定供給に努めることで、北海道の経済やお客さまの暮らしを支え、北海道の持続的な成長に貢献してまいります。

■ 2020年度 配当予想

2020年度の間・期末配当予想につきましては、2020年4月30日に公表した数値から変更はありません。

【2020年度 配当予想（1株あたり配当金）】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2019年度 (実績)	5円	5円	10円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2020年度 (予想)	5円	5円	10円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結経常利益の変動要因（対前年同期比較）

(白紙)

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常収益	営業収益(売上高)	1,738	1,785	△ 47	△ 2.6
	電気事業営業収益	1,662	1,710	△ 48	△ 2.8
	その他事業営業収益	76	75	0	1.0
	営業外収益	5	7	△ 1	△ 19.8
	合計	1,744	1,792	△ 48	△ 2.7
経常費用	営業費用	1,493	1,744	△ 251	△ 14.4
	電気事業営業費用	1,424	1,674	△ 250	△ 15.0
	その他事業営業費用	69	69	△ 0	△ 0.6
	営業外費用	33	31	1	4.5
	合計	1,526	1,776	△ 249	△ 14.1
[営業利益]		[245]	[41]	[203]	[495.1]
経常利益		217	16	201	－
渴水準備金引当又は取崩し		△ 2	△ 4	2	－
税金等調整前四半期純利益		220	21	198	924.2
法人税等		35	9	26	288.7
四半期純利益		184	12	172	－
非支配株主に帰属する四半期純損失		△ 0	△ 1	0	－
親会社株主に帰属する四半期純利益		185	13	171	－

(参考)	四半期包括利益	192	15	176	－
------	---------	-----	----	-----	---

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株) ※	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくてんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくてんエコエナジー(株)	石狩LNG栈橋(株)
ほくてんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくてん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

※北海道電力ネットワーク(株)は、2020年4月1日に北海道電力(株)の一般送配電事業等を会社分割により承継し、同日付けで北海道電力送配電事業分割準備(株)から商号を変更いたしました。

- ・小売販売電力量は、お客さまニーズを捉えた営業活動の推進により当社に切り替えていただく高圧・特別高圧のお客さまが着実に増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響等による業務用需要のお客さまの休業および産業用需要のお客さまの生産減による電力需要の減少影響などから、合計で5,089百万kWh、対前年伸び率△3.5%となりました。
- ・他社販売電力量は、卸電力取引所への販売が減少したことなどから、合計で796百万kWh、対前年伸び率△16.8%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	2,112	2,142	△ 30	△ 1.4
		電 力	379	404	△ 25	△ 6.1
		計	2,491	2,546	△ 55	△ 2.1
	高圧・特別高圧		2,598	2,727	△ 129	△ 4.7
	計		5,089	5,273	△ 184	△ 3.5
他社販売電力量		796	957	△ 161	△ 16.8	
小売・他社販売電力量合計		5,885	6,230	△ 345	△ 5.5	

- ・ 泊発電所が全基停止していることに加え、出水率が90.0%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用を図ったことから、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
自 社	(出水率%) 水 力	(90.0%) 1,153	(84.1%) 1,061	(5.9%) 92	8.7
	火 力	3,753	3,826	△ 73	△ 1.9
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	-
	新エネルギー等	40	29	11	37.5
計		4,946	4,916	30	0.6
他 社		1,511	1,707	△ 196	△ 11.6
揚 水 用		△ 89	△ 91	2	△ 2.5
合 計		6,368	6,532	△ 164	△ 2.5

※他社には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

(単位：億円)

	当第1 四半期連結 累計期間 (A)	前第1 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因	
売 上 高	1,738	1,785	△ 47	△ 2.6		
電気事業営業収益	1,662	1,710	△ 48	△ 2.8		
2 社 合 計 (※)	電 灯 ・ 電 力 料	1,214	1,276	△ 62	△ 4.9	【減少要因】 ・小売販売電力量等の減少 ・燃料費調整制度の影響
	そ の 他	452	437	15	3.6	【増加要因】 ・再エネ特措法交付金の増加
	地帯間・他社販売 電力料(再掲)	62	101	△ 39	△38.8	【減少要因】 ・地帯間・他社販売電力料の減少
	託送収益(再掲)	82	87	△ 5	△ 6.6	・託送収益の減少
	子会社・連結修正	△ 4	△ 3	△ 1	-	
その他事業営業収益	76	75	0	1.0		
営 業 外 収 益	5	7	△ 1	△19.8		
経 常 収 益	1,744	1,792	△ 48	△ 2.7		

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当第1 四半期連結 累計期間 (A)	前第1 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		1,424	1,674	△250	△ 15.0	
2 社 合 計	人 件 費	138	140	△ 1	△ 0.8	
	燃 料 費	190	262	△ 72	△ 27.5	【増加要因】 ・再生可能エネルギー買取増
	購 入 電 力 料	408	404	3	0.9	【減少要因】 ・小売・他社販売電力量の減少 ・燃料価格の低下 ・水力発電量の増加
	修 繕 費	83	155	△ 72	△ 46.5	・火力発電所定期検査費用の減少
	減 価 償 却 費	176	167	9	5.6	
	そ の 他 費 用	422	546	△124	△ 22.7	・固定資産税の減少 ・情報処理費用の減少
	子会社・連結修正	4	△ 1	6	-	
その他事業営業費用		69	69	△ 0	△ 0.6	
営業外費用		33	31	1	4.5	
	支払利息（再掲）	27	26	0	1.6	
経常費用		1,526	1,776	△249	△ 14.1	
経常利益		217	16	201	-	

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は1,611億円となり、セグメント損益は新型コロナウイルス感染症の影響等による販売電力量の減少はありましたが、当第1四半期は火力発電所の定期検査がなかったことで修繕費の水準が低位にとどまったことなどから、230億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は606億円となり、セグメント損益は節電や省エネルギー意識の定着に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による電力需要の減少などもあり、ほぼ収支均衡となりました。

(単位：億円)

	当第1四半期 連結累計期間
売上高	1,738
北海道電力	1,611
北海道電力ネットワーク	606
その他 ※1	251
調整額 ※2	△ 730
セグメント損益（経常損益）	217
北海道電力	230
北海道電力ネットワーク	0
その他 ※1	△ 6
調整額 ※2	△ 7

(補足)

<報告セグメントの変更>

- ・2020年4月1日の法的分離に伴い、当第1四半期より、報告セグメントを従来の「電気事業」から、会社別の機能に応じた「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」に変更した。
- ・また、報告セグメントの利益は、2社の経常利益を中心に業績の評価を行うため、従来の「営業損益」から「経常損益」へ変更した。

※1 「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2 「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

連結決算－経常利益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）

